

一般社団法人 神戸市老人福祉施設連盟へのご加入のお願い

一般社団法人神戸市老人福祉施設連盟（略称：神戸老施連）は、昭和39年5月に当時の神戸市が所管する養護老人ホーム、軽費老人ホームの事業者組織として発足してきました。現在は、神戸市内の社会福祉法人、市立が運営しています施設の115施設長が結集しています。平成21年4月より一般社団法人に移行しています。

措置であったサービス及び施設運営から、平成12年介護保険制度に移行し、大きく変わりました。利用者が主体の考えからサービスを利用者が選択方式へ変わり、報酬も要介護度別報酬へと変更となりました。以降、サービス内容や報酬は、3年毎に大きく変化している一方で、今日社会の変化により介護職の人材確保が極めて困難になってきており、事業者にとっていろいろな面で厳しいものが求められています。さらに、社会福祉法は改正され、平成29年4月から法人運営が大幅に変更になると共に、地域における公益的な取組みも求められることになりました。

一方、サービスの質と経営の安定には、常にお客様に喜んで頂けるサービスの提供をめざしマニュアルの整備、研修の実施等都度改善が求められています

当連盟は、こうした課題に対応すべく活動を展開しています。また、これらの活動と合わせ、全国組織であります公益社団法人全国老人福祉施設協議会を中心とする全国組織及び地方組織と連携、さらには、神戸市内にある介護保険事業者7つの団体で組織されている神戸市介護サービス協会等とも連携し、その役割も果たして来ました。

このように当連盟が、今日まで神戸市への対応、全国や地方・地域との連携が図れたのも、神戸市内にある社会福祉法人施設及び公立施設の全施設が老施連に加盟して頂

き、力を合わせた活動が展開されてきたからであります。

私たちを取り巻く環境は、行政の財政逼迫を背景に介護保険制度も年々厳しい状況と大きな変化をもたらしており、今後の状況も予測しがたい状況にもあります。言うまでもなく、国の制度に対する要望や神戸市への対応は、一施設、いや一法人が頑張れば問題が解決する状況ではありません。それだけに、事業者団体組織が結束し、困難な状況に立ち向かっていかなければなりません。

こうした私達の活動や取り巻く環境等についてご判断頂き、是非とも、私どもの組織にご加入頂き、貴施設の施設長や職員の皆さんと老施連の仲間の皆さんと共に意見交換できることを願う共に、諸問題解決に向け共に歩んでいけることを願っています。重ねてご加入頂きます様お願いを申し上げます次第です。

平成29年4月

一般社団法人 神戸市老人福祉施設連盟

理事長 松井 年孝